

1 気象

本年の根雪終日は2月8日で平年より34日早く、晩霜は4月24日で平年より11日早かった。

4月：平均気温は平年より1.2 低く、最高気温は1.2 低く、最低気温は1.1 低かった。降水量は5.5mm 少なく、平年対比92%であった。日照時間は23.1時間少なく、平年対比86%であった。

5月：平均気温は平年より0.2 高く、最高気温は.3 低く、最低気温は0.5 高かった。降水量は6.9mm多く、平年対比107%であった。日照時間は13.1時間少なく、平年対比92%であった。

6月：平均気温は平年より1.9 高く、最高気温は2.5 高く、最低気温は1.4 高かった。降水量は20.3mm 少なく、平年対比76%であった。日照時間は79.7時間多く、平年対比161%であった。

7月：平均気温は平年より1.5 低く、最高気温は1.4 低く、最低気温は2.1 低かった。降水量は10.9mm 多く、平年対比109%であった。日照時間は26.7時間多く、平年対比128%であった。

8月：平均気温は平年より0.8 高く、最高気温は1.1 高く、最低気温は0.1 高かった。降水量は21.6mm 少なく、平年対比87%であった。日照時間は38.0時間多く、平年対比132%であった。

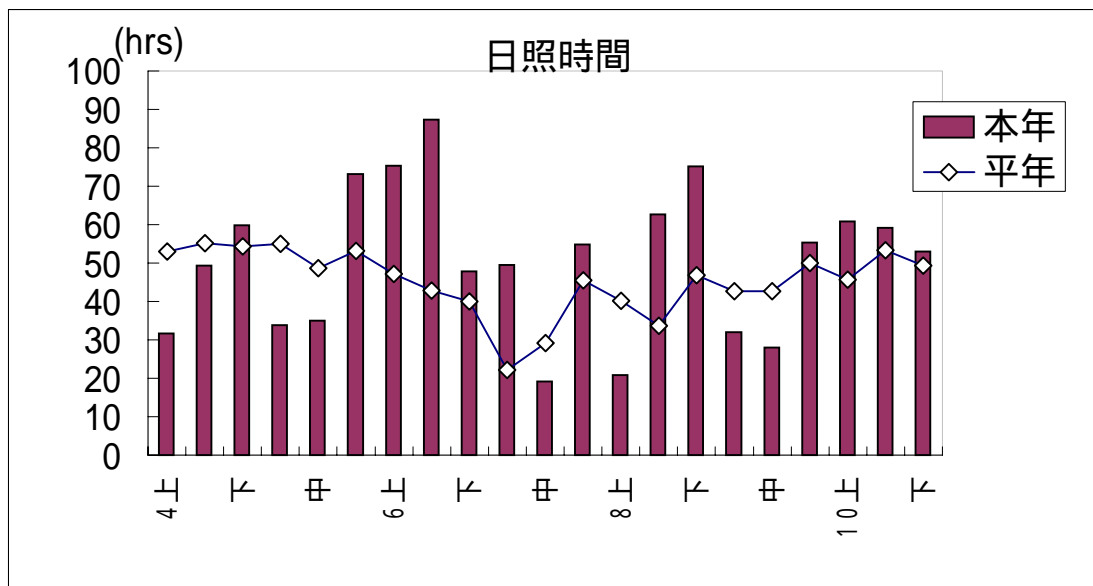
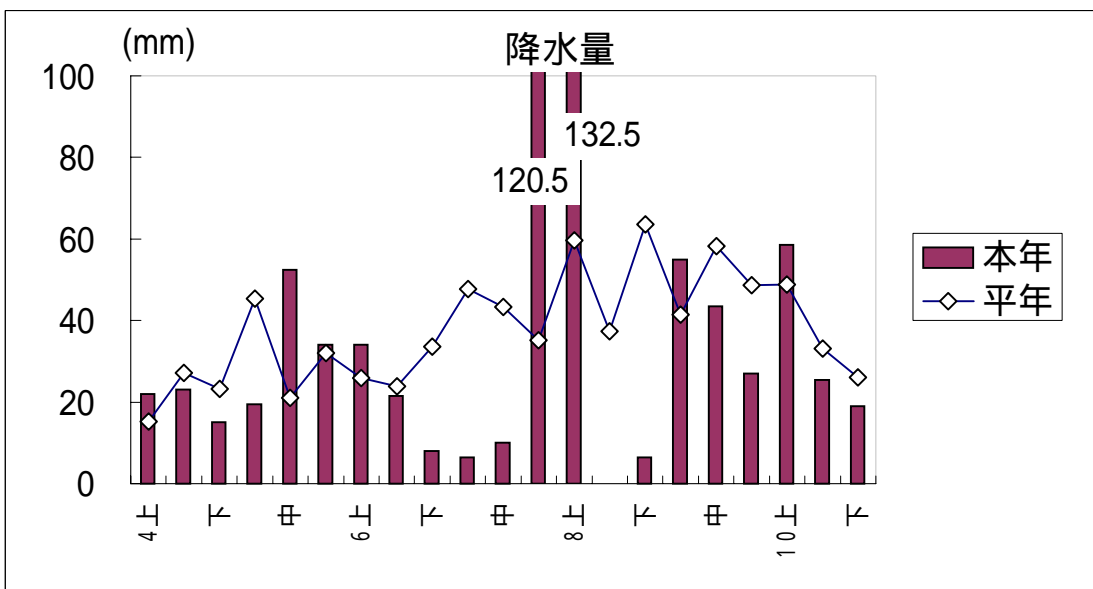
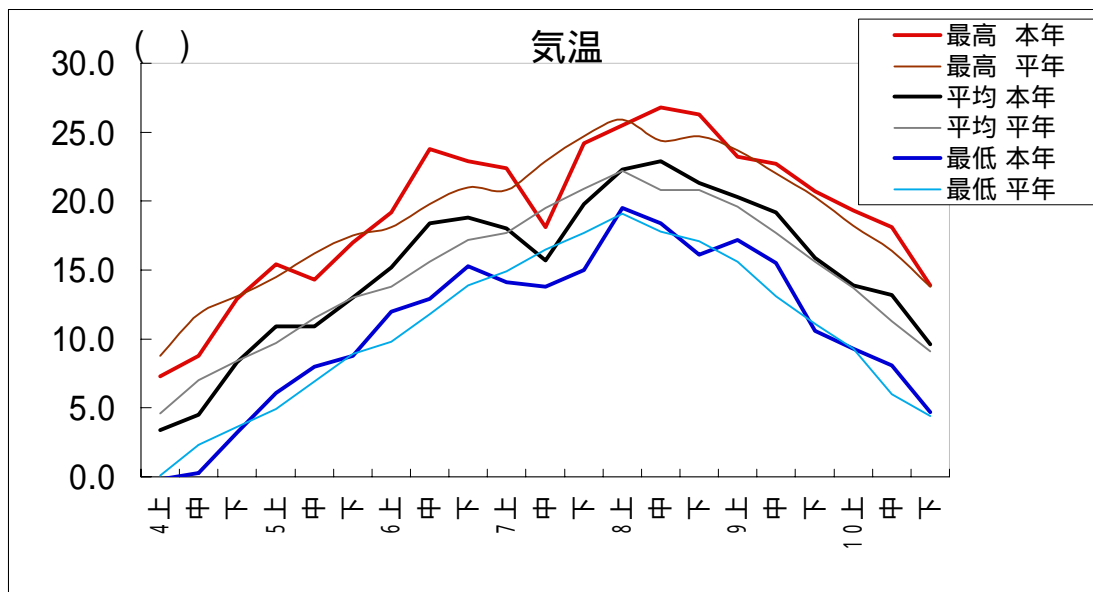
9月：平均気温は平年より0.9 高く、最高気温は0.1 高く、最低気温は1.2 高かった。降水量は22.9mm 少なく、平年対比85%であった。日照時間は20.0時間少なく、平年対比85%であった。

10月：平均気温は平年より0.3 低く、最高気温は0.4 低く、最低気温は0.3 低かった。降水量は5.3mm 少なく、平年対比95%であった。日照時間は24.3時間多く、平年対比116%であった。

本年の初霜は10月25日で平年より8日遅く、初雪は11月15日で平年より13日遅かった。

以上、農耕期間の気象についてまとめると、気温は5月上旬を除いて5月下旬まで低温に経過し、6月から7月上旬までは高温に経過した。7月中旬から下旬は低温に経過し、8月以降は高温に経過した。降水量は5月中旬、7月下旬、8月上旬にまとまった降雨があったほかは、全般に少なく、特に6月中旬から7月中旬までは干ばつ傾向であった。日照時間は5月中旬までは少なかったが、5月下旬以降、7月上旬までは極めて多かった。7月中旬、8月上旬、9月上旬、9月中旬に少なかったものの、全般に多かった。5月から9月の積算では、平年に比べて、積算平均気温(平年 2612)は 68 高く、降水量(平年617mm)は 47mm少なく、日照時間(平年637hr)は 115時間多かった。

気象図(平成19年)



気象表

月旬	平均気温			最高気温			最低気温			降水量mm			日照時間		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
4上	3.4	4.6	1.2	7.3	8.8	1.5	-0.2	0.1	0.3	22.0	15.2	6.8	31.6	53.0	21.4
中	4.5	7.0	2.5	8.8	11.8	3.0	0.3	2.3	2.0	23.0	27.2	4.2	49.3	55.2	5.9
下	8.3	8.4	0.1	12.9	13.1	0.2	3.2	3.6	0.4	15.0	23.2	8.2	59.8	54.4	5.4
5上	10.9	9.7	1.2	15.4	14.5	0.9	6.1	4.9	1.2	19.5	45.3	25.8	33.9	55.0	21.1
中	10.9	11.5	0.6	14.3	16.2	1.9	8.0	6.9	1.1	52.5	21.0	31.5	35.0	48.6	13.6
下	13.0	13.0	0.0	17.0	17.5	0.5	8.8	8.9	0.1	34.0	32.0	2.0	73.1	53.2	19.9
6上	15.2	13.8	1.4	19.2	18.1	1.1	12.0	9.8	2.2	34.0	25.9	8.1	75.4	47.2	28.2
中	18.4	15.6	2.8	23.8	19.8	4.0	12.9	11.8	1.1	21.5	23.9	2.4	87.3	42.8	44.5
下	18.8	17.2	1.6	22.9	21.0	1.9	15.3	13.9	1.4	8.0	33.6	25.6	47.9	40.0	7.9
7上	18.0	17.7	0.3	22.4	20.8	1.6	14.1	14.9	0.8	6.5	47.8	41.3	49.5	22.2	27.3
中	15.7	19.5	3.8	18.1	22.9	4.8	13.8	16.5	2.7	10.0	43.3	33.3	19.1	29.1	10.0
下	19.8	20.9	1.1	24.2	24.7	0.5	15.0	17.7	2.7	120.5	35.1	85.4	54.8	45.5	9.3
8上	22.3	22.2	0.1	25.5	25.9	0.4	19.5	19.1	0.4	132.5	59.7	72.8	20.8	40.1	19.3
中	22.9	20.8	2.1	26.8	24.4	2.4	18.4	17.8	0.6	0.0	37.3	37.3	62.6	33.7	28.9
下	21.3	20.8	0.5	26.3	24.7	1.6	16.1	17.1	1.0	6.5	63.6	57.1	75.1	46.8	28.3
9上	20.3	19.6	0.7	23.2	23.7	0.5	17.2	15.6	1.6	55.0	41.4	13.6	32.0	42.7	10.7
中	19.2	17.7	1.5	22.7	22.0	0.7	15.5	13.1	2.4	43.5	58.3	14.8	28.0	42.6	14.6
下	15.9	15.6	0.3	20.7	20.3	0.4	10.6	11.1	0.5	27.0	48.7	21.7	55.3	50.0	5.3
10上	13.9	13.7	0.2	19.3	18.2	1.1	9.3	9.3	0.0	58.5	48.8	9.7	60.9	45.6	15.3
中	13.2	11.3	1.9	18.1	16.4	1.7	8.1	6.0	2.1	25.5	33.2	7.7	59.1	53.4	5.7
下	9.6	9.1	0.5	13.9	13.8	0.1	4.7	4.4	0.3	19.0	26.0	7.0	53.0	49.3	3.7
4月平均	5.4	6.6	1.2	10.1	11.3	1.2	0.8	1.9	1.1	60.0	65.5	5.5	139.3	162.4	23.1
5月平均	11.7	11.5	0.2	15.9	16.2	0.3	7.4	6.9	0.5	105.0	98.1	6.9	144.1	157.2	13.1
6月平均	17.5	15.6	1.9	22.3	19.8	2.5	13.2	11.8	1.4	63.0	83.3	20.3	210.3	130.6	79.7
7月平均	17.9	19.4	1.5	21.6	23.0	1.4	14.3	16.4	2.1	137.0	126.1	10.9	123.4	96.7	26.7
8月平均	22.1	21.3	0.8	26.2	25.1	1.1	18.0	17.9	0.1	139.0	160.6	21.6	158.5	120.5	38.0
9月平均	18.5	17.6	0.9	22.2	22.1	0.1	14.4	13.2	1.2	125.5	148.4	22.9	115.3	135.3	20.0
10月平均	11.0	11.3	0.3	15.8	16.2	0.4	6.1	6.4	0.3	103.0	108.3	5.3	173.0	148.7	24.3

注1)観測値は北斗市のアメダスデータを使用。

注2)平年値は前10カ年の北斗市のアメダスデータを使用し道南農試作成。

注3)「平均又は合計」は道南農試作成。

注4)表中 印は低又は少を示す。

注5) 9月中旬の日照時間は1997年が欠測のため、9ヶ月平均を示す。

季節調査(年.月.日)

区別	根雪始	根雪終日	降雪終日	耕鋤始	晩 霜	初 霜	降雪始
本年	19. 1. 9	19. 2. 8	19. 4.26	19. 4.11	19. 4.24	19/10/25	19/11/15
平年	12.15	3.14	4.13	4. 9	5. 5	10.17	11. 2
比較	25	34	13	2	11	8	13

注1)函館海洋気象台(函館市美原)の観測値及び平年値。(統計期間 霜・降雪 1873～2000年、根雪 1891～2000年)

注2)耕鋤始は農試データ。

注3)表中 印は「早」を示す。

農耕期間積算値(5～9月)

区別	平均気温()	降水量(mm)	日照時間(hr)
本年	2680	570	752
平年	2612	617	637

注: 本年値は大野のアメダスデータを使用し農試で作成。平年値は前10カ年の大野のアメダスデータを使用し農試で作成。

2 当該作況

水稲 不良

播種は平年より1日遅い4月20日に行った。出芽期は平年より2日遅い4月27日であった。育苗中の日照時間は平年より少なかったため、苗の生育は遅延傾向であったが、移植時の苗の形質は、育苗基準に達していた。移植は5月22日に行った。活着は良好で、その後、高温多照に経過したため生育は良好であった。幼穂形成期は「きらら397」で平年より8日、「ほしのゆめ」で平年より7日早かった。

7月中旬は一転して低温・寡照となり、障害型不稔が多発した。生育は緩慢となり、止葉期は平年より4日早まるに留まった。止葉葉数はほぼ平年並みであった。出穂期は、「きらら397」で平年より5日、「ほしのゆめ」で平年より4日早かった。8月中旬以降は再び高温、多照に経過したため登熟は急速に進み、成熟期は「きらら397」で平年より14日、「ほしのゆめ」で平年より12日早かった。

稈長は「きらら397」で平年より2.2cm、「ほしのゆめ」で6.1cm短かった。穂長は「きらら397」で平年より0.4cm、「ほしのゆめ」で0.6cm短かった。m²当穂数は「きらら397」で平年より122本、「ほしのゆめ」で101本多かった。一穂粒数は「きらら397」で平年より2.2粒、「ほしのゆめ」で3.4粒少なかったものの、m²当初数は「きらら397」で平年より4500粒、「ほしのゆめ」で2,600粒多かった。不稔歩合は極めて多く、「きらら397」で平年より28.4%多く、「ほしのゆめ」で平年より12.6%多かった。登熟歩合は「きらら397」で平年より19.7%、「ほしのゆめ」で平年より10.9%少なかった。収量平年比(精玄米重平年比)は「きらら397」「ほしのゆめ」がそれぞれ75%、85%であった。千粒重は「きらら397」で平年より0.7g、「ほしのゆめ」で平年より0.4g低く、検査等級もやや劣った。以上のことから、本年の作況は「不良」である。

生育及び収量調査成績

項 目	きらら397(中苗)			ほしのゆめ(中苗)			(参)ふっくりんこ(中苗)			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
播種期(月日)	4.20	4.19	1	4.20	4.19	1	4.20	(4.19)	-	
移植期(月日)	5.22	5.20	2	5.22	5.20	2	5.22	(5.20)	-	
幼穂形成期(月日)	6.29	7.07	8	6.27	7.04	7	7.02	(7.09)	-	
止葉期(月日)	7.18	7.22	4	7.17	7.21	4	7.21	(7.26)	-	
出穂期(月日)	7.29	8.03	5	7.28	8.01	4	8.01	(8.07)	-	
成熟期(月日)	9.12	9.26	14	9.08	9.20	12	9.16	(10.04)	-	
穂揃日数(日)	2	6.2	4	4	6.8	3	4	(6)	-	
登熟日数(日)	45	54	9	42	50	8	46	(56)	-	
生育日数(日)	145	159	14	141	157	16	149	(165)	-	
草丈(cm)	移植時	11.8	12.4	0.6	13.9	13.3	0.6	14.1	(12.6)	-
	6月20日	29.1	26.7	2.4	30.8	30.1	0.7	29.5	(29.7)	-
	7月20日	64.1	59.3	4.8	68.5	63.7	4.8	69.6	(62.8)	-
茎数(本/m ²)	移植時	76	83	7	83	83	0	76	(91)	-
	6月20日	682	367	315	669	364	305	672	(364)	-
	7月20日	790	773	17	780	790	10	854	(889)	-
葉数(枚)	移植時	3.1	3.2	0.1	3.3	3.0	0.3	3.1	(3.1)	-
	6月20日	8.3	7.2	1.1	7.8	6.9	0.9	8.0	(7.0)	-
	7月20日	11.3	10.9	0.4	10.4	10.3	0.1	11.0	(10.4)	-
止葉葉数(枚)	11.4	11.3	0.1	10.4	10.6	0.2	11.2	(11.2)	-	
成熟期	稈長(cm)	62.9	65.1	2.2	64.0	70.1	6.1	74.5	(73.0)	-
	穂長(cm)	15.3	15.7	0.4	15.0	15.6	0.6	15.9	(16.1)	-
	穂数(本)	720	598	122	742	641	101	750	(650)	-
一穂籾数	47.9	50.1	2.2	44.3	47.7	3.4	53.1	(46.9)	-	
m ² 当籾数(×100)	345	300	45	329	303	26	398	(303)	-	
稔実籾数(×100)	216	272	56	260	279	19	308	(265)	-	
不稔歩合(%)	37.3	8.9	28.4	20.9	8.3	12.6	22.5	(12.6)	-	
登熟歩合(%)	60.7	80.4	19.7	73.6	84.5	10.9	70.4	(82.5)	-	
籾摺歩合(%)	75.6	79.4	3.8	70.6	76.7	6.1	72.2	(76.5)	-	
屑米重(kg/a)	3.3	2.0	1.3	6.6	3.4	3.2	7.5	(4.0)	-	
屑米歩合(%)	8.0	3.8	4.2	13.8	6.5	7.2	13.1	(7.7)	-	
立粒重(g)	831	826	5	816	833	17	838	(830)	-	
千粒重(g)	21.4	22.1	0.7	20.9	21.3	0.4	21.9	(22.0)	-	
わら重(kg/a)	75.8	56.4	19.4	67.2	56.7	10.5	77.0	(65.5)	-	
精籾重(kg/a)	50.1	64.0	13.9	58.6	63.6	5.0	69.0	(66.0)	-	
精玄米重(kg/a)	37.9	50.8	12.9	41.4	48.8	7.4	49.8	(50.4)	-	
収量平年比(%)	75	100	-	85	100	-	-	-	-	
玄米検査等級	2上	1下	-	2上	1下	-	1	2上	-	

注1)平年値は前7か年中、平成12年(最豊年)、同15年(最凶年)を除く5か年の平均値を用いた。

注2)栽植密度は25.3株/m²(33cm×12cm)、1株3本植え。移植日:5月22日

注3)表中 印は「減」または「早」を示す。

注4)「ふっくりんこ」の()内は平成14~18年の5か年平均値。

注5)本田施肥量 :N、P₂O₅、K₂O成分をそれぞれ0.8、0.97、0.69(kg/a)施用した。

注6)篩目は1.90mmを使用し、精玄米重、千粒重とも水分15.0%に補正した。

注7)登熟歩合は比重1.06の塩水で調査した。